

県立鹿児島工業高等学校同窓会会報

ろっこう No.10
2020/OCT



誠 創 精 校
実 造 進 訓



同窓会会員も復元に携わった御楼門



同窓会館正面玄関



校歌でも深い縁がある島津斉彬公

一、紫にほふ桜島

その美はしさ気高さに
吾等の意気をたぐへてむ

清き流れの甲突の

夜昼舎かぬいそしみに

わが精進の則を見む

二、伊敷の原に聳え立つ

大煙突のいただきよ

空をおほうて立つ煙

工場におこる朝夕の

天地どよもす響きこそ

わが鹿工の行進歌

三、明君島津斉彬公

新工業を開かれし

集成館も程近し

自然に歴史に恵まれし

幸を思ふていざ進め

鹿児島工業学生われら

同窓会会長ごあいさつ



同窓会会長

永里 和吉

・生年月日 S26.8.4 69歳
・学歴、職歴
S45 鹿児島工業高等学校工業化学科卒
S50 日本大学建築学科 卒
国鉄、海上保安庁 県教委(教員、教頭、校長)
・趣味 ゴルフ、スポーツ観戦

同窓生の皆様、ご健勝のことと存じます。

この会報誌は発行してから今年で10年の節目を迎えました。2011年「ろっこう創刊号」を紐解いてみると、当時の牟田神会長が「母校や後輩の活躍状況、同窓生の交流状況を楽しくお知らせし、同窓生の絆を強めることを願って発刊することになった。」とご挨拶されています。私たち事務局も先代の初刊の思いを引き継ぎ、会員の皆様との心の架け橋になるよう精進努力していききたいと思います。

また、その年には東日本大震災が発生し、日本中が自然災害の脅威に向き合い一日も早い復興を祈念した年でもありました。

奇しくも10年後の今年、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大し、不要不急な外出及びイベント開催等の自粛が求められ、同窓会活動にも様々な影響がありました。

本部総会は鹿児島県内在住の方のみで慰霊祭・

総会を実施し、懇親会は中止いたしました。また、県外支部(関東、中部、関西、九州)は支部総会、懇親会とも中止されたと聞いております。なお、本部総会につきましては、議案事項がありましたので、県内外支部長及び職域支部長、同窓会幹事にも書面表決していただき、当日出席者の表決と合わせ決議しましたことを報告いたします。

今世の中はコロナ禍ですべての分野に影響をもたらされています。母校でも今春の卒業生が長い間自宅待機になったり、在校生も行事や各種大会の中止・縮小や進路選択の縮小など様々な分野で制限がかかっています。同窓会では、このような厳しい教育環境を少しでも緩和できるよう支援していきたいと考えています。

本誌の発行は会員の皆様から寄せられました「運営協力金」により続けられ、在校生への支援も図られています。引き続き絶大なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、所ジョージさんがある番組で「自粛自粛と委縮するな。委縮しないで静粛にしよう!」という言葉が耳に残っています。東日本大震災での教訓を生かし、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ことのないように、「ウィズコロナ、アフターコロナ」の対応をし、一日も早い感染拡大の鎮静化と平常の社会機能が回復することを願いつつ、母校の繁栄と会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念申し上げごあいさつとします。

校長ごあいさつ



学校長

満丸 浩

・生年月日 S35.5.2 60歳
・学歴、職歴
S54.3 甲南高校卒
S58.3 鹿児島大学工学部機械工学科卒
H27.3 山口大学大学院技術経営研究科修士
S58.4 三洋電機 7年間勤務
H 2.4 鹿児島県教員へ採用

今年は、「伊敷の原に聳え立つ大煙突のいただきよ」と校歌の歌詞にもある、文化庁・登録有形文化財「大煙突」が大正9年に建造されてから100年の節目の年となります。

現在、この大煙突に隣接する教室棟・実習棟は新築工事の最中にあり、3月にⅡ類実習棟が完成しました。年度内には旧建築棟、インテリア棟、建設技術棟が解体され、解体の振動に「大煙突」は耐えられるのかとの心配がありましたが、同窓会のお力添えにより、煙突内部には十分な耐震補強工事が施され、工事は順調に進んでいます。

さて、創立112周年を迎えた同窓会総会・懇親会や各支部の総会が新型コロナウイルス感染症への対応で中

止や書面決議になるなど役員の皆様は苦渋の決断があったかと思います。学校でも影響があり、臨時休校になったり部活動では3年生が最後となる大会の中止や資格検定も延期などの措置があったりしました。しかし、練習や勉強してきた成果を存分に発揮できない状況はあるものの、生徒は元気に登校し、学校には活気があります。

このような中で3年生の進路選択への影響が懸念されていましたが、県内は元より全国の企業様から例年通りの求人をいただき、これまで築いていただいた母校の伝統・底力に感謝しているところです。生徒一人一人の希望が叶い、結果として19年連続の就職内定率100%や進学先決定となるよう、精進していきます。

また、日々の学校生活では重点目標として、「挨拶、時間、清掃」をキーワードに『明るく元気な学校』を掲げています。マスク着用、うがい手洗いの徹底、三密を避けるなど「新しい生活様式」への対応は勿論ですが、在校生には、コロナ禍にあっても『明るく元気な学校』で伝統に新たな歴史を刻んで欲しいと願っています。

最後になりましたが、ホームページ等での情報発信に努めてまいりますので、今後とも一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

実習棟集約化の校舎改築が進む

鹿児島工業高校校舎改築については、4期計画で整備を進めたⅡ類（建築・建設技術・インテリア）の実習棟の新校舎が2020年3月に完成しました。建物規模はRC造4階建3,755㎡で、木造実習室やパソコン室、測量実習室、工芸実習室に使われています。続く5期計画では、2020～21年度にⅠ類（電子機械・電気技術・工業化学・情報技術）の実習棟が、RC造3階建3,880㎡の建物規模で整備されます。建設予定地にある建築棟とインテリア棟、ボクシング場等を解体し、跡地の一部はグラウンドの拡張用地となります。校舎整備の進捗は以下のとおりです。

2007～08年度	2011～12年度	2013～14年度	2015～16年度	2017～18年度	2018～21年度
屋内運動場	校舎(1期)	校舎(2期)	校舎(3期)	大煙突耐震工事	校舎(4,5期)
RC4階建	RC6階建	RC6階建	RC6階建	高さ18m煉瓦造	RC3,4階建



同窓会入会式を2月末開催

令和2年の鹿児島工業高校同窓会入会式は2月28日本校の体育館で開催し、永里会長ら本部役員、今春卒業する349人の生徒と担任教員などが参加しました。今回は中部支部の幸加木直治支部長と関東支部の佐藤健太郎副幹事長が駆け付けていただき、一緒に新会員を歓迎しました。会長は「県外に5支部、県内や職域に同窓会支部がある。悩み事の相談にも乗るので、同窓会を利用してください」と挨拶し、佐藤副幹事長から「社会で活躍するために、卒業後も勉強を続けてください」と激励がありました。予定していた新入会員代表挨拶は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の県教育委員会の指導を踏まえ、時間短縮のため略しました。



ビジネスマナーを学ぶ

2月12日(水)に麻生専門学校グループ教育推進グループ部長徳久晶子氏を講師としてお迎えし、卒業を控えた3年生349名に対してビジネスマナー教室が行われました。講義の内容としては、社会人としてのマナーや常識、心構え等の指導をお願いしました。また、同窓会より卒業記念品として、「ビジネスマナー」のマナー本を生徒全員に寄贈しました。



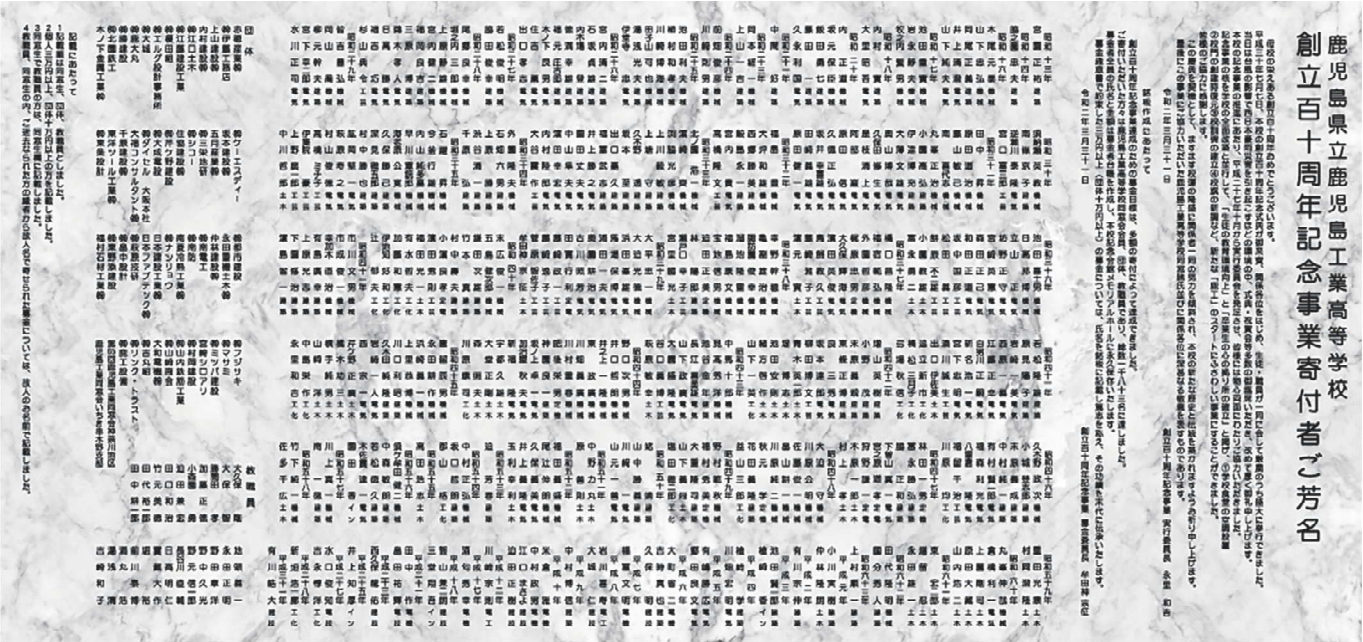
宝山ホールで定期演奏会を開催

鹿児島工業高校吹奏楽部は去る12月26日、鹿児島市内の宝山ホールで第45回定期演奏会を開いた。ステージ上では、上大迫末羽部長はじめ56名の部員に、OB・OGの方々、顧問の米丸、野村、吉本先生と一緒に参加して、マーチやソウル&ファンク、映画音楽など幅広く演奏しました。観客からは、楽しいパフォーマンスや練習で磨いた演奏に対して、盛大な拍手があった。なお、吹奏楽部については、毎年同窓会総会の懇親会の演奏や大運動会の行進曲吹奏などにより、ふさわしい雰囲気づくりに貢献しています。

創立 110 周年記念事業

■ 高額寄付者のご芳名板を設置

創立百十周年記念事業実行委員会は3月17日に母校の食堂の壁面に、寄付趣意書でご案内したとおり高額寄付者のご芳名板を取り付けました。ご自由にご覧出来ますが、事務局に連絡いただくとご案内いたします。また、寄付された全員の芳名録も制作を進めており、同窓会事務局に備えることにしています。



■ 収入の部

科 目	収入済額(B)
寄 付 金	33,358,600
雑 収 入	50,441
PTA・職員積立金	6,086,000
基金より借入	21,000,000
合 計	60,495,041

■ 支出の部

科 目	金 額	備 考
空調施設整備費	19,656,667	県教育庁で施工済
校旗購入費	1,090,260	
校訓碑設置費	800,000	
創建時正門費	3,700,000	
大煙突周辺修景費	0	
事 務 費	2,346,758	

会 議 費	201,108	
募金活動委託費	6,791,345	
記念誌製作費	867,655	
記念式典費	2,503,732	
交 通 費	215,180	
基金へ返戻金	21,000,000	借入金返戻
基金へ移し替え	1,322,336	正門緑地費用
合 計	60,495,041	

〔注記〕 創立記念事業で残る創建時の正門復元のうち鉄扉の製作・据付については、施工者の応募がなかったため、教育振興事業に引き継いで繰越しました。費用は移し替えて、施工費の一部とします。

交流ゴルフ大会で有村勲さん(電気S39卒)が準優勝

第8回鹿児島四高交流ゴルフ大会が、去る10月25日 鹿児島市本城町のゴールデンパームカントリークラブで開催されました。この大会に参加できるのは鹿商並びに玉龍、甲南、鹿工の卒業生で、今回は139名で競いました。その後、山形屋7階の食堂で表彰式及び懇親会を行い、交流と親睦を深めました。鹿工卒業生に係る成績は、個人戦で有村勲さんがグロス78、ネット69.6で二位、団体戦では鹿商に続いて準優勝でした。

秋空の下 鹿児島ハンヤ節など踊る

鹿児島市の天文館一帯で開催されるおはら祭に、11月3日 同窓会、PTA、学校が一体となって参加しました。鹿児島市民の方々へ創立110周年記念式典を案内するため、平成29年に出場して以来3回目になりました。秋空の下、約30名で太鼓三味線に合わせて、「おはら節」や「鹿児島ハンヤ節」「渋谷音頭」を楽しく踊りました。おはら祭への参加については、創立記念事業が終了することから、令和元年が最後の年になります。



ラグビー部並びに男子バレーボール部の全国大会出場費用等を助成

鹿児島工業高校ラグビー部は全国高校ラグビー大会県予選の決勝で、鹿児島玉龍に 41-19 で勝利、男子バレーボール部は県高校バレーボール選手権大会で鹿児島商業に 2-1 で勝ち出場権を得ました。同窓会においては両部の保護者会、OB 会と連携し、全国大会に出場する活動費助成並びに応援経費の補助を行うため、寄付をお願いしたところ 630 万円余りが集まりました。応援バスの借り上げ料や入場チケット代、通信費など必要経費を差し引いた残額を、両部と学校に助成しました。寄付された方々のご協力に感謝申し上げます。



全国高校ラグビー大会応援記

東大阪市花園ラグビー場で第99回全国高校ラグビー大会が開催され、鹿児島工業高校ラグビー部は 6 年ぶり13 回目の出場を成し遂げました。鹿児島工業高校同窓会関西支部としても出場を心より祝福し、激励会を大阪市で開催致しました。来賓の方々から、お祝いと励ましの言葉を頂き、1 回戦の茨城県茗溪学園との試合に臨みました。12 月 28 日。快晴に恵まれた第 2 グランド、両校応援団が見守る中、試合開始。前半は茗溪学園が力を発揮。劣勢の中、鹿工応援団から「ハカ」の力強い声がグランドに響きわたりました。後半は鹿工が FW と BK 一体のラグビーで 3 トライ。終盤 34 分、鹿工応援席すぐ前の密集戦に、FW が押し込んでトライ。ひと際、大きな歓声が上がりました。試合は 21 対 50 で敗退しましたが、最後まで諦めずに戦った選手達に、拍手が鳴りやみませんでした。花園へは生徒や保護者、学校長及び本部同窓会正副会長がバス 3 台で到着。また、近畿各地や地域同窓会支部から多くの同窓生が集まり、県人会と共に熱い声援を送りました。年末のお忙しい中、応援頂きましたことに厚くお礼申し上げます。再び、後輩達の花園出場を願い、鹿工ラグビー部応援記とします。



関西支部副支部長 谷口義博(工芸科 S43 卒)



春高バレー大会観戦記

鹿児島工業高校男子バレーボール部の皆さん、学校の関係者並びにご父兄の皆さん、第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会出場おめでとうございます。不断のたゆまない練習の賜物と嬉しく思っています。第一試合の1月5日(日)は、晴天ながら寒風吹きすさぶ中、鹿工ののぼり旗の前に試合開始の3時間半前から、父兄の方々が来場の皆さんを迎えておられました。ご父兄に対して、裏方の仕事はもとより応援まで休む時もない作業に頭の下がる思いで敬意を表します。学校からは満丸校長はじめ関係の先生や同窓会本部の佐藤副会長が駆け付けました。応援席は父兄の方々を中心に関東支部からもおよそ30名が参加して、満席の状態でした。試合は42年ぶり2回目出場の新潟代表・佐渡高校に、1セットの出だしで緊張のためか4点先取されたが、その後は始終リードして1,2セットとも先取し勝利しました。翌6日は風もなく晴天でしたが、早くから父兄の方々は来場者を迎えておられました。第二試合の相手は15年連続36回目出場の東京代表・東亜学園高校です。関東支部の応援者は仕事始めが重なり10名余りでしたが、父兄の皆さんと一緒に声をからして応援しました。1セット目から点を取り合うシーソーゲームとなり24対25、続く2セット目も同様な試合運びとなり24対25で負けました。勝ってもおかしくないほどでしたが、少しの運が相手側に行った試合だと悔しい思いでした。



今回の経験を糧に益々努力して、強豪といわれるチームを目指してください。来年も出場されることを、関東支部一同歓迎し、楽しみにしています。

関東支部支部長 坂中国彦(工芸科 S36 卒)



関東支部

年始め新型コロナウイルスのニュースが流れた当初は、軽く考えていました。がその禍は全ての動きを止めてしまいました。オリンピックも二年延期となりました。関東支部も4月初旬に総会の案内状を送る予定で準備が完了して居ました。

コロナの全体像が掴めず総会の開催が中止かで幹事会(幹事会も小人数で開催)でも苦慮しました。毎年、総会で皆さんと会えて歓談することを楽しみにされている同窓生には誠に申し訳ないと思いましたが総会の出席者は高齢者が多いのでまず安全を第一と考え少し決定が早いかないと思いましたが中止を決定しました。

早速中止の案内を作成して発送しました。案内の中に総会の中止もあり毎年お願いしている寄付も無理かなと思いつつも寄付のお願いを同封しま

したところ現在81名の方から40万円余の貴重な寄付を賜っています。

皆様の同窓会を思う心に誠に有難く感謝の念です。支部活動も渋谷オハラ祭りが中止となりました。昨年末のラグビー部の花園出場・年始めのバレーボール部の春高出場の応援や今年度の新卒者への住所の登録など進めています。

関東支部は大変です。毎年総会を開催して来ましたが震災に関ビル東海大学校友会館がコロナの影響をまともに受けて7月末に閉館することになりました。来年度の総会の会場選定に苦慮しています。此のままコロナのワクチン・治療薬が開発出来なければ来年度の総会は、参加者の人数の倍の面積が必要になり会場探しに幹事一同必死です。一日も早くコロナ禍が沈静して学校の授業も部活も日常生活も以前に戻り部活の皆さんが上京され皆で応援が出来る日

が早く来ることを願うばかりです。



関西支部

支部長 坂中国彦
(S36 工芸科卒)

前回私が『ろっこう』に寄稿したときは東日本大震災発生した年でしたが、今回は新型コロナウイルスという未知の感染症の年になりました。

令和元年の関西支部の活動状況をご報告いたします。

まず、会則により幹事会で役員改選が協議され、6月29日の支部総会にて承認されました。6年間、会を率いて頂いた宇都支部長は相談役に大重が支部長、東副支部長、桂事務局長が新任され右山(S60建築)と川原(H16建築)に新しく幹事に入ってもらいました。

7月5日の支部協議会の乾杯の挨拶で関西支部のジンクスとして支部長が交代した年はラグビー部が全国大会に出場していることを披露しました。

ラグビー部OBの私にとっではプレッシャーでしたが、翌日の総会で窪園監督、上園部長、OB会にもプレッシャーを共有してもらいました。

新体制の中、本校同窓会をはじめ関西鹿児島県人会総連合会、鹿児島県高校同窓会関西連合会との交流を深めました。

支部総会の次に関西支部が盛上ったのは、第99回全国高等学校ラグビー選手権大会でした。県予選の組合せ、予選結果を気にしながら11月10日花園出場をかけた対玉龍校決勝戦、歓喜の勝利で関西支部ジンクスが成立しました。

早速、勝利報告を相談役の皆様にご覧いただき、出場に向けては激励会準備、同窓会はもちろん県事務所、関西鹿児島県

人会、高校同窓会関西連合会への応援・激励会参加の依頼等忙しくも嬉しい日々でした。

関西での練習場の手配はラグビー部OB満園先輩にお願いし宿舎に近い森ノ宮医療大学のグラウンドと神戸製鋼のグラウンドを使わせて頂くことが出来ました。

激励会は12月25日天満橋キャッスルホテルで年末の平日にも関わらず60名を超える来賓、本部・支部代表、会員で盛大に行いました。

選手諸君は早朝からの移動や練習後で疲れたかも・・・。

12月27日は開会式で堂々たる入場行進を見せられました。

1回戦は28日、茨城県代表・茗溪学園で関西代表の試合かと間違えるくらいの大応援団の中、結果は惜敗でした。

点差と違い後半は「押せ、押せ」で鹿工魂を見せつけてくれました。

年が変わり新型コロナウイルスの感染拡大が騒がれ、国の緊急事態宣言に先んじ、計画を重ねてき

た関西鹿児島県人会総連合会主催の『第16回ごしまファンデー』の中止に始まり、各高校同窓会関西支部加盟校の総会中止が決定されています。

関西支部は恒例の総会を中止の通知をするだけでなく会員の皆様へ令和元年の活動報告、会計報告、監査報告及び臨時役員人事を議題として返信ハガキを添付し送信させて頂きました。7月4日返信ハガキの集計を行い全ての議案が可決いたしました。

決議の結果、ご意見への回答を9月初旬に発送予定です。

予定がつかない年となってしまうことが会から遠ざかっている会員、若手会員との繋がりを強くし会を盛上げていくことを大命題に幹事一同頑張ります。

支部支部長 大重隆司
(S49年建築科卒)





中部支部

卒業して44年も経つと高校時代に考えていた未来とは、相当異なる人生を突き進んでいるものです。いよいよ還暦を過ぎ人生を振り返る機会を得たので、げんなかに記載し自分が史を簡単に記載します。

私は、鹿工機械科を卒業し「製造設備を設計する」として就職、目標の機械設計をかじり始め、3年後には機械製造メーカーと数億円の商談を担当した。

その後、会社からの派遣で技術系短期大学にて

機械工学を学び、会社に戻ると「品質管理」担当を拝命。以来、およそ35年の間、鉄の「品質設計・品質管理」を担当している。

座学が嫌いで、机に向かうことが苦手でしたが、今では毎日ほぼ8時間パソコンに向かい資料作成・決済・会議の日々を過ごす。6年間、海外の関連会社に赴任する機会を得た。国情から、車の運転が許可されていないため車が毎朝迎えに来る。

土日は、飽きるほどゴルフ場に通った(6年間で

554ラウンド)。宴会があつても、移動は運転手付きの車で送迎される。日本ではとても考えられない生活。

赴任初期は、その運転手さんにも感謝していたが、いつしか、そういう生活にも慣れた。日本人会の集まりで、日系自動車メーカー社長の講演を拝聴した時の言葉が胸に刺さった。

「私たちは、ここにきて仕事をさせて戴いている。感謝の気持ちをもつて、この国の発展に尽力しよう。」さて、私は、どうだったろうか。感謝していたか。気づかされる言葉であった。

再雇用となり、給与は退職前の半分程であるが、「仕事をさせていたでいる」と思うことにした。さあ、あしたも頑張ろう。秋にはコロナ禍で中断の支部ゴルフも計画した。皆さんとの再会を楽しみにしたい。

末筆ながら、鹿工同窓会の皆さん方のご健康とご発展を祈念いたします。

中部支部 原田 秀人
(S51 機械科卒)



中国・四国支部

新型コロナウイルス感染症拡大と対応、豪雨被害と心に刻まれる一年でした。弊支部は、今春新卒者を過去最多14名加え、246名が在籍。広域管轄下「温もりのある、心の通う中国四国支部」を旗印に「相互親睦」と共に「母校部活動支援」と「新卒者含む若手のサポート」を3本柱に傾注しています。

令和元年度総会は「ホテルチュウリツヒ東方2001」(広島市)で開催、母校、同窓会本部、県外各支部からもご臨席賜り、出席者36名の盛会となりました。翌日はオプショナルツアーと称し、「原爆ドーム」「マツダスタジアム」「筆の里工房」「西条酒蔵」等を散策、「美酒鍋御膳」「西条のお酒」を楽しみ親睦を深めました。

九州高等学校溶接競技会、全国高校ラグビー選手権には、会場に足を運び激励応援を果たしました。溶接技術競技会にむけて、支部名誉顧問 出崎義雄先輩が代表取締役会



支部長 大園 盛隆
(S43 電気科卒)

長を務める大雄工業株式会社工場長 豊島洋一様による被覆アーク溶接技術指導会を実施、併せて田崎先輩がテストピース100組(170kg)を寄贈、支部有志が母校溶接訓練場を激励するなど鹿児島県大会団体の部で最優秀賞、九州大会出場へ全幅支援を果たしました。

新卒者サポートは、寮訪問やランチ歓迎会で、安全面・生活面のアドバ

イスや対話を積み重ねました。ホームシックに陥りがちな初動タイムシグのコミュニケーションが有効的であると確信して、中国四国メソッドとして定着しています。



九州支部

コロナ感染「緊急事態宣言」解除に伴い社会経済活動が段階的に再開され生活様式が回復しつつある中、皆様には、お健康にお過ごしのことと存じます。令和2年新卒者も、配属先が決まり住居も確定し社会人としてスタートを切っております。先日、関西支部から2名が九州支部管内の配属になり、連絡先住所が通知されてきました。各支部間の連携の必要性を感じた次第です。今年の九州支部同窓会総会・懇親会(例年6月第二土曜日)は、「新型コロナウイルス感染症防止」の緊急事態宣言で中止となりましたが、新卒者へショートメール等で支部役員手分けをして、66名の連絡先、住所を把握する活動を実施しました。今後もし若い世代が参加して、新陳代謝が図られるべき活動が継続していければと思います。メンバーの高齢化と若年層の帰属離



幹事長 徳満 達夫



どんこ会

令和に元号が変わり、一年が過ぎました。

元号が変わると、より良い時代が到来するのでは、と期待しましたが、残念なことに今年早春よりの新型コロナウイルス禍で、オリンピック、鹿児島国体、そして身近な話では、令和二年鹿児島工業高校同窓会の中止と、軒並み総会や多数集まる会合が延期や中止になりました。

年に一度、城山で同窓生の皆さんと顔を合わせ飲み酒は一年間の楽しみとなっていましたが残念でなりません。一日も早い新型コロナウイルスの終息を願う毎日です。

さて、今年度もどんこ会は会員総数六十三名のもと、会員相互の成長と活性化に努め、例会二回と二月勉強会開催し。七月にスポーツ振興基金の寄付を行いました。今後は状況を見据えながら、在校生との座談会な



どんこ会会長 江藤 正幸



鹿児島工業土木・建設技術会

今回は、土木科創設の経緯について述べたいと思います。

戦後の日本は、社会資本の整備が工業国を目指すうえで急務でありました。

全国で、二十世紀を見据えた国土づくりが、進められ、そこに携わる建設技術者の育成が急務となり、鹿児島県の工業系の高校に土木科が創設されることになりました。

鹿工には、昭和二十六年(一九五一年)に県庁、市役所建設会社技術者育成機関として、土木科が定時制で発足しました。昭和三十一年(一九五六年)に全日制に移行します。

平成三年からは、公立学校再編整備方針により、入学選抜方法を本県初の類型方式に変更し、建築・土木・インテリアをⅡ類として一括して入学させ、二年次に各専門系に進路を選ぶ方式に充実され、土木科は、「建設

技術系」と改称されています。これまで六十三年間の卒業生は、約三八〇人上り、広く全国各地で地域づくりに活躍しています。

「土木・建設技術会」同窓会は、昭和六十年年に発足三十五年間の歴史を重ね毎年鹿児島市で総会を開催して交流を深めています。

今年の喜ばしい話題として副会長の山崎洋氏が(S45年卒)永年に亘る鹿児島県防排水事業理事長として社会貢献の功績で「黄綬褒章」を受賞され、会員心から喜んでいました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で総会は中止となりました。令和三年度は五月に「タ イセイアネックス」(会場変更)で開催する計画です。

今後とも、母校と卒業生の益々のご発展と、在校生の無限の可能性へのチャレンジに期待し、関係者の皆様のご健勝ご多幸をお祈りします。

会長 池田安則



工業化学会

第5回工業化学会を令

和2年1月25日(土)に

城山ホテル鹿児島で35名

を集め開催いたしました。

当会の発足は5年前に1

期生(昭和40年3月卒)

が卒業から50年経ったこと

から、1期2期生を中心

に大阪の地で23名集まって

始めたのがこの会の産声で

した。

伊地知会長(S40卒)

から会の主旨・経緯や本

人の高校時聖火ランナー

だったことにユーモアを交

え話され開会の挨拶をさ

れました。乾杯はMBCタ

レントでもある古川(浜田)

順子さん(S45卒)に気

合のあるご発声を賜り、

歓談タイムでは全員による

自己紹介・エピソードで盛

り上がり親睦を深めるこ

とができました。最後は

雨田隆一郎さん(H5卒)

がエール、閉会挨拶を吉見

圭さん(S40卒)で結び、

楽しい出会いのひとつとき

余韻と再会を誓い、会を

閉じました。

全国の工業化学科・系

卒の皆さん、次回はぜひ

参加しませんか。開催す

るときは1月末の土曜日

を予定しますが詳しくは

同窓会ホームページに記載



硬式野球部 OB 会

【今年4月から硬式野球部も永山監督に代わりました。つきましては永山監督にコメントをお願いしましたところ今の現状とこれからを熱く語って頂きました。】

硬式野球部は、ここ数年の戦績が芳しくなく、部員数の減少に伴い、野球部のあるべき姿を見失いつつありました。そこで、この4月から、「甲子園から呼ばれるチーム」になるために、鹿工野球部の進化を目指し、心の持ちよう、意識改革をスタートさせました。我々は単に活動の歴史を重ねるだけではなく、新たな伝統を創造するために、日々の練習場所、活動など、「今ここ」こそが甲子園という意識で鍛錬を重ねることで人間力の向上を目指していきます。技術はまだまだ二流、三流ですが、誰からも応援される人、チームになれるよう「心」を表す日常の「姿勢」をまずは一流に変えていきます。先日、開催された夏の代替大会市内予選では、代表決定戦の樟南高校との試合に僅差で敗れ、非常に悔しい思いと同時に、4月からの取り組みの成果、方向性の正しさを確認することができました。現3年生が創ってくれた新たな伝統を湛えた川の流れをより太く、深い大河とし、脈々と続く鹿工野球部の歴史が誇れるものとなるように、鹿工卒業生の有形無形の応援を支えとして、これからも精進して参ります。

硬式野球部 監督 永山 正利



総会、懇親会

鹿児島工業高校ボクシングOB会

第10回鹿児島工業高校ボクシング部OB会が、1月3日鹿児島市のパレスイン鹿児島で開催された。川畑健義会長(建築科S61卒)は「母校発展への協力は今後も継続したい。部活動には昨年以上の活躍を期待している」と挨拶、重田光康初代会長(土木科S59卒)は「久しぶりに参加した。若い人たちが集い、活気あふれるOB会になってほしい」と期待を述べた。永里同窓会会長と満丸校長から、「オリンピック選手を輩出した伝統と実績のある部であり、今後も結束を強めてほしい」、「OB会が後輩たちに伝統と実績をつないでいく日になってほしい」と激励した。乾杯の後、部発足のエピソード案内などがあり、和やかな雰囲気の中で親睦を深めた。



ボクシング部 前OB会 会長 倉橋 利一

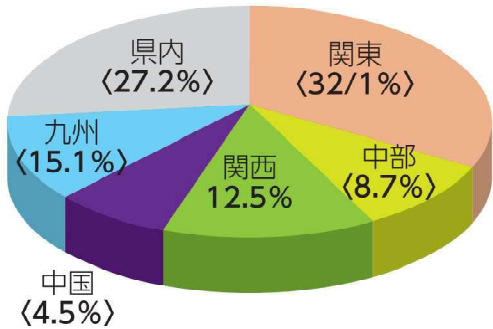
令和元年度 就職・進路の状況

令和元年度は景気回復と、ここ数年で顕著となってきた人材不足を背景に、企業が採用を積極的に拡大する傾向が見られ、ここ数年で最多の求人件数となりました。また、公務員につきましても採用数が増加しており、企業及び公務員を合わせた就職希望者は全体の76.0%でした。企業への就職を希望した3年生は、18年連続就職試験内定率100%を目標に、一人一人が緊張感を持って良く努力した結果、目標を達成することができました。公務員については30名が内定しております。進学についても努力が実り国立大学に4名、有名私立大学など80名が合格しました。

進路先		決定者 (名)			比率
		合 計	男	女	
就職 265	県内企業	55	47	8	76.0%
	県外企業	177	159	18	
	公務員	30	24	6	
	縁故就職・自家業	3	3		
進学 84	大学	50	42	8	24.0%
	短大	3	2	1	
	職能開発施設等	2	2		
	専門学校 等	29	26	3	
その他					
卒業生数		349	305	44	100%

就職先都道府県順位

1 位	鹿児島県	72 名
2 位	東京都	41 名
3 位	福岡県	35 名
4 位	神奈川県	27 名
5 位	大阪府	21 名
6 位	愛知県	21 名



年 度	関東	中部	関西	中国 四国	九州	県外 合計	県内	就職者 合計
平成30年度	86	31	35	9	43	204	80	284
平成29年度	80	33	44	9	39	205	69	274
平成28年度	91	25	42	10	31	199	72	271

令和元年度 決算・予算報告

一般会計R1 決算				収入の部 (単位 円)	
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考	
前年度繰越金	2,329,228	2,329,228	0		
入 会 金 会 費	2,120,000	2,138,200	10,800	生徒 200 円×1,060 名×10 ヶ月	
同窓会運営協力金	500,000	500,000	0	総会会計より	
寄 付 金	0	0	0		
雑 収 入	0	265,408	265,408	ホームページ/ナー広告代、名簿売上、H2 インテリア卒業生一同他	
利 息	72	15	△ 57		
合 計	4,949,300	5,232,851	283,551		

一般会計 R2 予算				収入の部 (単位 円)	
科 目	R2 年度 (A)	31 年度 (B)	増減 (A)-(B)	備 考	
前年度繰越金	2,195,378	2,329,228	△ 133,850		
入 会 金 会 費	2,120,000	2,120,000	0	生徒 200 円×1,060 名×10 ヶ月	
同窓会運営協力金	0	500,000	△ 500,000	総会会計より (新型コロナウイルスにより懇親会中止)	
寄 付 金	0	0	0		
雑 収 入	0	0	0		
利 息	122	72	50		
合 計	4,315,500	4,949,300	△ 633,800		

支出の部 (単位 円)				支出の部 (単位 円)	
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考	
定 例 会 費	150,000	178,311	28,311	定例役員会	
幹 事 会 費	150,000	150,064	64	幹事会	
需 用 費	60,000	9,154	△ 50,846	事務用品、名刺、封筒	
通 信 費	300,000	301,065	1,065	電話料金、OCN、郵送料、コピー機、連絡メール使用料	
支部総会祝金	150,000	175,000	25,000	県内外支部総会参加費	
支部交流費同窓会	470,000	606,300	136,300	県内外支部総会旅費	
支部交流費学校	330,000	252,740	△ 77,260	県内外支部総会旅費	
支部活動費	400,000	350,000	△ 50,000	(一律) 県外 5 万円、県内 2 万円	
支部活動補助費	150,000	160,000	10,000	各部一律5千円	
慶 弔 費	150,000	102,000	△ 48,000	慰霊塔献花年間契約金、学校転退職先生方への祝金	
総 会 費	200,000	200,000	0	総会費補助	
事 務 費	550,000	519,839	△ 30,161	事務局員賃金	
雑 費	50,000	33,000	△ 17,000	校章/バッジ代	
予 備 費	1,839,300	0	△ 1,839,300		
合 計	4,949,300	3,037,473	△ 1,911,827		

支出の部 (単位 円)				支出の部 (単位 円)	
科 目	R2 年度 (A)	31 年度 (B)	増減 (A)-(B)	備 考	
定 例 会 費	150,000	150,000	0	定例役員会	
幹 事 会 費	50,000	150,000	△ 100,000	資料発送 (会議は新型コロナウイルスにより中止)	
需 用 費	60,000	60,000	0	事務用品、名刺、封筒	
通 信 費	400,000	300,000	100,000	電話料金、OCN、郵送料、HP 保守料、コピー代	
支部総会祝金	55,000	150,000	△ 95,000	県外・県内支部総会参加費 ※	
支部交流費同窓会	150,000	470,000	△ 320,000	県外・県内 (市内除く) 支部総会旅費 (同窓会役員) ※	
支部交流費学校	60,000	330,000	△ 270,000	県外・県内 (市内除く) 支部総会旅費 (学校) ※	
支部活動費	400,000	400,000	0	一律県外支部 5 万円、県内支部 2 万円	
支部活動補助費	0	150,000	△ 150,000	教育振興会一本化	
慶 弔 費	150,000	150,000	0	慰霊塔献花年間契約金、転退職先生方への祝金	
総 会 費	0	200,000	△ 200,000	総会補助 (新型コロナウイルスにより懇親会中止)	
事 務 費	550,000	550,000	0	事務局員賃金、事務局電気使用料	
雑 費	50,000	50,000	0		
予 備 費	2,240,500	1,839,300	401,200		
合 計	4,315,500	4,949,300	△ 633,800		

収 入	5,441,205	支 出	3,111,977	残高/次年度繰越金	2,329,228
-----	-----------	-----	-----------	-----------	-----------

※新型コロナウイルスにより縮小の為

総会会計 R1 決算

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
前年度繰越金	1,771,325	1,771,325	0	
会 費	2,250,000	1,554,000	△ 696,000	約 470 名
広 告 費	6,250,000	6,990,000	740,000	
南日本新聞	3,750,000	4,500,000	750,000	
同窓会新聞	2,500,000	2,490,000	△ 10,000	
雑 収 入	50,000	95,000	45,000	上山建設、関東、関西、中国四国、福田光一、田代裕一郎
本 部 補 助	200,000	200,000	0	預金利息
利 息	75	22	△ 53	
合 計	10,521,400	10,610,347	88,947	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
会 議 費	400,000	401,410	1,410	実行委員会、幹事会、各支部会
通 信 費	120,000	108,747	△ 11,253	
印 刷 費	150,000	110,460	△ 39,540	封筒、チケット代、ポスター代
交 通 費	400,000	325,060	△ 74,940	支部来賓旅費
広 告 費	2,600,000	2,374,696	△ 225,304	
南日本新聞	2,100,000	2,027,592	△ 72,408	南日本新聞
同窓会新聞	400,000	247,104	△ 152,896	同窓会新聞
看 板	100,000	100,000	0	看板
総 会 費	3,400,000	3,256,575	△ 143,425	支部協議会費、慰霊祭費、城山ホテル鹿児島等
賞 品 費	500,000	467,258	△ 32,742	
イベント費	100,000	38,905	△ 61,095	部活紹介生徒、吹奏楽部楽器運搬費
当番幹事記念品費	200,000	200,000	0	
同窓会運営協力金	500,000	500,000	0	
部活動補助費	300,000	300,000	0	
手 数 料	50,000	77,073	27,073	郵便口座手数料、振込手数料
予 備 費	1,801,400	0	△ 1,801,400	
合 計	10,521,400	8,160,184	△ 2,361,216	

收 入	10,610,347	支 出	8,160,184	残高/次年度繰越金	2,450,163
-----	------------	-----	-----------	-----------	-----------

教育振興会 R1 決算

収入の部				(単位 円)
科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
前期繰越額	15,681,653	15,681,653	0	
貸与回収金	60,000	19,000	△ 41,000	1名
会報協力金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
雑収入	47	22,322,465	22,322,418	
返戻金		21,000,000		110周年事業貸出金返金
移替金		1,322,336		110周年事業引当金
利息		129		利息
合 計	15,741,700	38,023,118	22,281,418	

支出の部 (単位 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備 考
助 成 金	600,000	453,950	△ 146,050	ものづくりコンテスト、大運動会補助、同窓会入会記念品代
需 用 費	10,000	0	△ 10,000	
通 信 費	10,000	404	△ 9,596	
部活動奨励費	500,000	419,000	△ 81,000	
賃 金	550,000	507,495	△ 42,505	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
予 備 費	13,871,700	0	△ 13,871,700	
合 計	15,741,700	1,580,849	△ 14,160,851	

收 入	38,023,118	支 出	1,580,849	残高/次年度繰越金	36,442,269
-----	------------	-----	-----------	-----------	------------

総会会計 R2 予算

科 目	R2年度(A)	R1年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
前年度繰越金	2,450,163	1,771,325	678,838	
会 費	0	2,250,000	△ 2,250,000	懇親会中止 (新型コロナウイルスの為)
広 告 費	0	6,250,000	△ 6,250,000	懇親会中止 (新型コロナウイルスの為)
南日本新聞	0	3,750,000	△ 3,750,000	
同窓会新聞	0	2,500,000	△ 2,500,000	
雑 収 入	0	50,000	△ 50,000	懇親会中止 (新型コロナウイルスの為)
本 部 補 助	0	200,000	△ 200,000	懇親会中止 (新型コロナウイルスの為)
利 息	337	75	262	預金利息
合 計	2,450,500	10,521,400	△ 8,070,900	

支出の部 (単位 円)

科 目	R2年度(A)	R1年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
会 議 費	300,000	400,000	△ 100,000	交通費、謝金、弁当代、懇親会補助
通 信 費	100,000	120,000	△ 20,000	郵送費（広告依頼、中止の案内等）
印刷費	133,000	150,000	△ 17,000	封筒（角2、長形3号）チケット等
交 通 費	0	400,000	△ 400,000	来賓旅費、実行委員長支部総会出席旅費
広 告 費	0	2,600,000	△ 2,600,000	
南日本新聞	0	2,100,000	△ 2,100,000	
同窓会新聞	0	400,000	△ 400,000	
看 板	0	100,000	△ 100,000	
総 会 費	55,000	3,600,000	△ 3,545,000	厄払い、慰霊祭等
賞 品 費	300,000	300,000	0	景品代（来年度使用）
イベント費	0	100,000	△ 100,000	
当番幹事記念品費	0	200,000	△ 200,000	
同窓会運営協力金	0	500,000	△ 500,000	
部活動補助費	0	300,000	△ 300,000	
手 数 料	3,000	50,000	△ 47,000	郵便口座手数料、返金振込手数料等
予 備 費	1,559,500	1,801,400	△ 241,900	
合 計	2,450,500	10,521,400	△ 8,070,900	

教育振興会 R2 予算

収入の部 (単位 円)				
科 目	R2年度	R1年度(R)	増減(A)-(R)	備 考
前期繰越額	36,442,269	15,681,653	20,760,616	
貸与回収金	60,000	60,000	0	奨学金償還者 1 名分
会報協力金	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
雑収入	395	47	22,322,684	利息
合 計	36,502,664	15,741,700	43,083,300	

支出の部 (単位 円)

科 目	R2年度	R1年度(B)	増減(A)-(B)	備 考
助 成 金	400,000	600,000	△ 200,000	ビジネスマナー研修他、差額は周年事業積立金へ
需 用 費	10,000	10,000	0	
通 信 費	10,000	10,000	0	
部 活 動 奨 励 費	650,000	500,000	150,000	一般会計補助分を一本化
賃 金	550,000	550,000	0	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
記念事業実行費	1,322,336	0	1,322,336	110 周年事業繰越分
予 備 費	33,360,328	13,871,700	19,488,628	

합	계	36,502,664	15,741,700	20,760,964	
---	---	------------	------------	------------	--

同窓会名誉會員一覽

【平成三十四年度】	山下 忠弘	昭和十六年卒	機械	副会長
	牧之内 繁男	昭和十七年卒	機械	福岡支部
	内村 實	昭和十八年卒	建築	会長
	上山 一吉	昭和二十三年卒	建築	副会長
	木ノ下 良男	昭和二十六年卒	電気	関西支部
	山下 清二	昭和二十六年卒	建築	関西支部
	宮内 研一	昭和二十七年卒	機械	関東支部
	杉山 典令	昭和二十八年卒	工芸	会長
	中島 博夫	昭和二十八年卒	電気	副会長
	鶴田 高義	昭和三十年卒	定土	土木会支部
	丸峯 清上	昭和三十一年卒	機械	関西支部
	宇田 正治	昭和三十一年卒	定電	副会長
	上塘 守一	昭和三十三年卒	建築	監事
	四本 誠	昭和三十三年卒	工芸	どんこ会
【平成三十五年度】	宮下 幸二郎	昭和二十九年卒	電気	中部支部
	永山 光幸	昭和三十三年卒	建築	関西支部
	大和田 靖憲	昭和三十五年卒	機械	指宿支部
【平成三十六年度】	鶏木 孝人	昭和二十八年卒	電気	九州支部
	尾郷 良幸	昭和二十八年卒	機械	関東支部
【平成三十七年度】	上原 勝	昭和三十四年卒	建築	どんこ会
【平成三十八年度】	原田 健一	昭和三十一年卒	電気	薩摩川内支部
	濱田 英俊	昭和三十三年卒	電気	副会長
	牟田神 宗征	昭和三十三年卒	土木	副会長
	伊地知 好和	昭和四十年卒	工化	副会長
	福田 光一	昭和四十年卒	土木	副会長
【平成三十九年度】	田中 昇	昭和三十一年卒	機械	中部支部
	内崎 義雄	昭和三十一年卒	電気	中国四国支部
	山本 純多嘉	昭和三十五年卒	機械	中部支部
	竹本 眞	昭和四十年卒	建築	副会長
	廻 光一	昭和四十二年卒	工化	副会長
【令和元年度】	古川 純二	昭和三十四年卒	機械	関東支部
	倉重 睦雄	昭和三十六年卒	建築	関東支部
	倉狩 勉	昭和四十一年卒	機械	関東支部
【令和二年度】	坂中 国彦	昭和三十六年卒	工芸	関東支部
	瀬戸口 幸子	昭和三十八年卒	工芸	関東支部
	坂本 達郎	昭和四十二年卒	電気	中部支部



小森 寿星 (こもり・じゅせい)

本名は小森寿生。
昭和 40 年電気科卒業
南さつま市出身

九州電力(株)退職後、鹿児島県の歴史風土、
文化への思いから薩摩狂句に出会い、
現在は NHK 鹿児島「ひるまえクルーズかごしま」の
薩摩狂句の選者で活躍中です。

薩摩狂句の作品投稿を希望の方は

- ①名 前 ②年・科卒 ③連絡先
④ペンネームをお書き添えの上

ホームページ・郵送・FAX でご連絡ください

ホームページ》<http://rokkoob.jp>

※今回は初回版につき小森先生に寄稿していただきました。

・前ん奴が見せじ赤点
じゃち恨ん
・血が出い目洗るてん消えん
加齢奥
・しかめ顔遺影い良かとお
ぶんと無し

小森 寿星

薩摩狂句

同窓会運営協力金のお願い

今年の同窓会報誌「ろっこう」は連続 10 回発行する記念号として、同窓会館と島津斉彬公立像と御楼門の組み写真を表紙にしました。「ろっこう」の発行は、多くの会員並びに恩師の方々から頂いた協力金で賄う仕組みとなっております。(印刷・発送費用に約 275 万円必要で、残額は同窓会活動費や在校生への部活・教材購入の補助に使う仕組みになっています) 令和元年度の実績は 1,030 件 236 万円余の浄財をいただきました。役員一同深く感謝申し上げます。芳名録を同封しています。「ろっこう」は同窓会本部や支部の活動並びに母校の近況を会員に紹介する有力な広報誌であり、会員相互の絆を深める情報手段であり、継続することが重要と考えています。つきましては、会員皆様の一層のご理解・ご協力をお願い致します。

同窓会運営協力金の振込用紙を同封しておりますので、

一口 2,000 円(コンビニでは 1 口、郵便局では何口も可)の寄付をお願い申し上げます

同窓会ホームページバナー広告がスタート!

同窓会では、同窓会運営財源の確保と同窓会生相互のコミュニティ等を図ることを目的として、卒業生が在籍する企業・団体を対象として、ホームページ上にバナー広告の掲載をスタートしました。掲載料はアクセス数やクリック数に関係なく年間 6,000 円と設定いたします。ぜひこの機会に、同窓会ホームページでバナー広告をお試しください。

<http://rokkoob.jp>



SCAN



携帯用



スマートフォン用



令和元年度 同窓会役員一覧

副会長・事務局長
横手 純男 (S45 上木科卒業)

同窓会運営 会報誌及び同窓会名簿

副会長
佐藤 俊一 (S48 機械科卒業)

総会部会の運営指導

副会長
柳田 博文 (S42 工芸科卒業)

メモリアルホール展示室整備

副会長・事務局長
畑 政治 (S38 電気科卒業)

業務監査、会計監査

副会長
倉橋 利一 (S60 電気科卒業)

役員会運営、ホームページ編集

監査
白濱 由紀子 (S54 インテリア科卒業)

業務監査、会計監査

副会長
中村 純一 (S46 建築科卒業)

教育振興会

■ 編集後記 ■

会報誌「ろっこう(10号)」には、ラクビー部や男子バレー部の全国大会の活躍はじめ、総会など活動自粛、創立記念事業精算報告の記事など多彩であります。特に会議や同窓会活動については、新型コロナウイルスの感染を防ぐための国の非常事態宣言や地方自治体のいわゆる三密(密接、密集、密着)の防止要請などを踏まえて、取り組んだところです。社会生活についてはワクチンや特効薬が病院に配置されていれば、日常通りの活動も可能となるわけですが、それまでは会員皆様におかれては十分に予防し健康にお過ごしください。次回、お会いできることを楽しみにしています。